

平成28年度 第2回印西市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成28年11月25日(金)午後3時00分から午後5時30分まで
- 2 開催場所 松山下公園総合体育館 多目的室
- 3 出席者 青木 和浩会長 五十嵐 靖宏副会長 青柳 豊子委員 早野 敏委員
高梨 峰子委員 三浦 徹委員 本郷 美代委員 秋山 剛委員
- 4 欠席者 伊東 勝正委員 岡田 光靖委員
- 5 事務局 山崎教育部参事 篠原スポーツ振興課長 白鳥副主幹 村越主査
小島主事
- 6 傍聴者 0人
- 7 会議 以下のとおり

1. 開 会 進行 事務局

2. あいさつ 青木会長

- ・会議録への署名捺印者の選任
委員の互選により、青木会長と秋山委員に決定。

3. 報告事項

<議長 青木会長>

(1) 学校プール開放事業実施報告について

— 事務局説明 —
質疑等なし

(2) 関東大学女子駅伝対校選手権大会事業実施報告について

— 事務局説明 —
質疑等なし

(3) スポーツフェス2016事業実施報告について

— 事務局説明 —
— 質 疑 —

(委員) 参加者が減少した原因については、どのようなことが考えられるか。

(事務局) 一つ目にスラックラインの人数が減少しているが、この点に関しては、昨年は委託業務により3台で運営していたが、今年度は備品購入で2台取得し運営した。1台減少したことによる、受け入れ可能人数の減少が考えられる。二つ目に当日参加可能な種目が減少したことにより、気軽に参加出来なかった点が挙げられる。来年度以降に向け、種目の精査を行っていく。

(委員) 子どもの参加が多く見られ、とても良いイベントだと思う。

(委員) 順天堂大学と連携した内容もあり、良いイベントだと感じた。

(委員) 以前は屋外で行っていたと記憶しているが、現在のように体育館を使用するようになったのはいつ頃からか。

(事務局) 平成23年から現在のように、体育館と屋外を使用する形式となっている。

(会 長) スポーツの枠にとらわれず、祭りのようなイベントにしてしまっても良いとも感じたので、前向きに検討していただければと思います。

(4) 印西アスリート教室について

— 事務局説明 —

質疑等なし

(5) (仮称) スポーツ広場整備事業について

— 事務局説明 —

質疑等なし

4. 議 題

(1) 印西市スポーツ行事補助金について

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(委 員) 事業費と予算要求額の差額について、説明をお願いします。

(事務局) 市の補助金要綱に従って交付しております。

(委 員) 上限ありきということになると、各団体が新規事業を行おうとした場合、今までの事業プラスでお金がかかってくるが、それに対しては補助を行わないということか。

(事務局) 補助金の性質上、永続的に続くものではないこと、将来的には自立することを目標としているため、特別な事情等が無い限り、補助金の上限が上がるということは、市の財政状況も鑑みると難しい。ただ、来年度の予算要求として、上位大会に出場する団体や選手に対する補助金を増額して要求しているの、前進したと思っていただきたい。また、今後新規事業等で補助金が必要な場合は、事務局として財政当局に要望をしまります。

(委 員) 実際に関東大会等に出場する選手がいるので、増額の要求は団体としては活動しやすくなるので、とても良いことだと思う。

(会 長) 今回の補助金に関しては、内容的には良くなっているということなので、承認してよろしいか。

— 承 認 —

(2) 印西市教育振興基本計画について

①アンケート調査報告書について

[3]スポーツ分野

3. 1 市民の健康、体力の向上

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(会 長) ここまでで端的に総括するとどのような意見、結論になるのか。

(事務局) 満足度を例に説明すると、「満足している」が70%という結論が出たとして、それで良しと判断するか、100%を目指すかで判断が変わってくるので、その部分を会議で議論していただければと思う。私どもの説明は70%を良しと判断した場合で説明しているので、その点をご理解いただいき聞いていただければと思う。

3. 2 「する」スポーツの活性化

— 事務局説明 —

質疑等なし

3. 3 スポーツ環境の向上

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(委 員) 何をやっているのかわかりにくい部分が多いかと思うので、どのようなことでも行う際は、明示し、気軽に参加できるようにしていかないと、自分は何をやったら良いかわからないという意見がほとんどなので、改善されないのではないか。

(会 長) 「わからない」と回答された方の内容も精査する必要があるのではないか。満足していないと捉えることもできるし、使用していないことから、わからないと答えている方もいると考えられるため。基本計画へ落とし込みをする際には、そのような背景もしっかりと反映されているかどうかを判断する必要がある。

②教育振興基本計画第1次素案について

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(委 員) この会議では4つの分野に渡り議論をするのか、スポーツのみに絞り議論するのか、どちらになるのか。

(事務局) どちらの意見を出していただいても良い。

(委 員) リーディング施策とはなにか。

(事務局) 本計画全体を先導していく施策や横断的に関連する施策を連携させることで相乗効果を発揮することを目的としている施策のことである。

(会 長) 本日はスポーツの分野に絞り、議論を行いましょう。

(委 員) 参加型のイベントや活動に対する取り組む姿勢には、地域格差がかなりあると感じている。

(委 員) 格差が出ているのであれば、それぞれの問題点を洗い出す必要があるのではないか。問題点がわからないと、解決策も見出せないのではないか。

(委 員) 部活動として有る種目、無い種目によっても取り組み方は異なる。

(委 員) 計画を考えていく中で、短期的な目標、中期、長期のものをしっかりと定めていった方が良いと思う。また、「背景と趣旨」を市民が見た時に、印西市はこのような方向に向かっていると一目でわからないといけないと思う。表と本文の文言が異なっていたり、様々なページにとんでいたりで見にくくなっていると感じた。さらに、スポーツではないが、文化の分野が充実していないように思う。

(会 長) 文化の分野は確かに、他の市町村と比べてもウィークポイントではないかと思う。スポーツや生涯学習の分野と上手く連動させる必要がある。

(委 員) 総論に対し、修正を入れすぎると方向性が定まらなくなるのではないか。また、例えば総合型地域スポーツクラブを例にとると、お金をかけてモデルケースを作ると良いのではないか。

- (委員) スポーツのできる場所へ足を運ぶことが難しい高齢者や子どものことを考えると、コミュニティセンター等を利用することが良いのではないか。他には、競技レベルの向上のために、専門性を持った指導者の育成も重要。指導を受ける側が要求していることに対応できる指導者が少ないと感じる。
- (委員) 参加機会の拡充について、スポーツを行っていない人を引っ張り込むのか行っている人をより拡充させるのかというそれぞれの側面から、考えていく必要がある。アンケート結果を見ると、時間が無い等の人については、どうしようもない部分もあると個人的には思う。
- (会長) 個々だけを取り上げてはしょうがないので、きちんと全体像の中でどのように戦略的に行っていくのか、また、様々な年代の人たちがいる中で、この年代の方には、このプログラムを提供するといったことができると更に住みよい街になっていくと思う。他にも、総合型の部分ももっと膨らませていければ良いと思う。
- 以上で意見交換は一通り終了したが、不足分に関しては、意見書を提出すればよろしいか。
- (事務局) その対応で問題ありません。
- (会長) 柱である施策1から5についてはお認めいただくということで、各施策内の問題点及び事業、また、新しいアイデアを意見書にて提案していただきたいと思います。

③その他 なし

(3) その他

9月の印西市議会において、スポーツ振興条例を制定してはどうかのご意見をいただきました。教育振興基本計画策定とあわせ、また、他市動向を見ながらスポーツ振興条例についても、今後ご意見を頂ければと思います。

5. 閉 会

(事務局)

- ・次回の会議 2月を予定